

「住みたくなるまち日本一～100年間ひとが増え続けるまち～」 の実現に向けて

富谷市は、平成28年10月10日に市制施行して誕生し、市民の幸福と富谷の発展に向けて、歩みを進めてまいりました。市制施行後に策定した富谷市総合計画は、富谷市の基礎を整える10年間のまちづくりのビジョンとして、将来像に「住みたくなるまち日本一」を掲げ、各施策に取り組んでまいりました。

少子高齢化やデジタル化、気候変動など、本市を取り巻く環境は急激に変化しております。こうした課題に的確に対応し、富谷をさらに発展させるため、このたび第2次富谷市総合計画を策定いたしました。市制10周年という節目を迎える令和8年度から令和17年度までの10年間の計画期間とする新たなまちづくりのスタートとなる計画です。

本計画では、将来像である「住みたくなるまち日本一」を継承し、3つのまちづくりの柱と7つの基本目標のもと各施策を迅速に推進してまいります。

そのベースにあるのが、「市民が主役のまちづくり」です。本市の強みである「市民力」を最大限に生かし、市民や地域、企業などが一つになる「オールとみや」の体制で、誰もが「住みたくなる」、市民の皆様には「住んでよかった」、「住み続けたい」と思っただけのまちを目指して、加速度をあげて取り組んでまいります。

最後に、計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました多くの市民の皆様や富谷市総合計画審議会委員、ならびに関係団体の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、今後なお一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

令和8年3月

富谷市長 **若生 裕俊**

